

た や しゅう すけ
田 矢 修 介

けん と く ら ぶ
県都クラブ

田端 隆登 田矢 修介
岡 幸男 山岡 祥郎
中川 隆幸 川崎 正次
前田 勝彦 中村 勝春

●議案質疑●

議案第80号 平成20年度津市一般
会計補正予算(第1号)歳出
教育費 教育振興費 学校評価
の充実・改善のための実践研究
事業について

- 1 自己評価・学校関係者評価は
どの様な活用が図られ、その狙
いは何か
- 2 評価を支える教員組織・学校
組織のあり方は
- 3 第三者評価への取り組みは

●一般質問●

1 特定健診・保健指導について

- (1) ポピュレーションアプローチ
としての取り組みは
- (2) 境界域にあるハイリスク者の
スクリーニング精度向上は
- (3) 治療中断者・治療未受診者の
把握と重症化防止の為のデータ
管理は

(4) 問 要医療者への医療提供体
制は十分か

答 県が中心となり、医師・保健
師・栄養士などによる糖尿病等の
要医療者へのフォロー体制を検討
中だ。食事・運動指導も含めた医
療提供体制を協議していきたい。

(5) 「特定健康診査等実施計画」
における達成目標値の設定は

2 救急業務のあり方について

- (1) 脳卒中が疑われる患者に対す
るプレホスピタルケア標準化プ
ログラム「P S L S」のライセ
ンス取得状況は
- (2) 119番受信時等における緊急

度・重症度の選別運用要領「ト
リアージ・プロトコル」につい
ての認識は

- (3) 乳幼児・小児の整形外科収容
照会回数は
- (4) 消防庁長官による「救急医療
体制の整備に関する要望書」に
おいて救急患者受入コーディネ
ーター配置等諸々の要望が出て
いるが、これに対する認識は

3 要約筆記について

- (1) 要約筆記の現状と必要性につ
いて当局の認識は
- (2) 要約筆記者の養成と派遣の取
り組み状況は
- (3) 関係団体との連携のあり方は

4 行政評価のあり方について

- (1) 公平性・統一性の重視から網
羅的・悉皆的な対象とすれば、
メリハリのある評価にならない
と懸念するが
- (2) 自らの業績を自ら問責する、
或いは批判の材料となり得る評
価は出来るのか
- (3) 評価の民主的統制と外部評価
制度が不可欠と考えるが

(4) 問 行政評価制度のルーティ
ン化をいかに防ぐのか

答 評価の結果を自ら評価する力
をつけ、改善していくことが重要
で、実効のあるものとして定着を
図りたい。また、本格的な導入に
向け改善・改良を続けていきたい。

5 地方公会計改革について

- (1) 新様式の財務4表について従
来方式によるモデルからの脱却
は
- (2) 退職金の引当や保有施設の減
価償却費等、直接的な現金の出
入りを伴わないコストの可視化
は
- (3) より有効・有用な財政計画運
用のため「発生主義・複式簿
記」への改善を
- (4) フロー・ストック両面からの
実態把握と統合的コスト管理の

徹底を

6 情報化の推進について

- (1) 統合型文書管理システムの運
用状況は
- (2) 「情報化推進計画(案)」に位
置付けられる「最適化」とは
- (3) グリーンITへの取り組みは
- (4) 県が市町と取り組む「三重県
地震被害予測システム」と津市
地理情報システムGISとの連
携をどのように考えているか

7 新最終処分場について

- (1) 新最終処分場候補地選定委員
会の動向及び今後のスケジュー
ルは
- (2) 候補地選定を進めていく上で
の課題の把握と解決に向けた取
り組みは

8 自然環境や歴史遺産を活かし
たまちづくりについて

- (1) 街路や公園の樹木管理から
ア 本来の樹の姿を活かすような
剪定を
イ 古木・大木は情操に寄与する
存在である。津市の樹木百選を
選定しては
- (2) お城公園・偕楽公園・地域の
公園管理から
ア お城公園をより明るく集いや
すい場所に。花木や草木類の植
栽管理を密にし、中核となる花
木を増やすべきではないか
イ 偕楽公園では桜・三つ葉つ
じのほかに夏・秋の見所を作っ
ていくべきと考えるが
ウ 地域の公園管理において、う
まくいっている所は全面的に開
放し、花壇などより特色ある公
園づくりをしてもらってはどうか
- (3) 緑化基金の運用から
ア 基金はこれまで何に使われ、
何が具現化し、どの様な活用が
図られてきたのか
イ 成果が市民の目に見えなけれ
ば、寄付は集まらないと考える